

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] THA 術後に転院した症例における退院支援の検討

[研究責任者] 10 階 A 病棟 奥田彩那

[研究の背景]

当院では年間約 100 例の THA を行っている。当院での THA のクリティカルパスの期間は術後 14 日間となっており、THA を行う多くの患者は当院でのリハビリを経て期間内に自宅に退院している。しかし THA を行う多くの患者は比較的高齢患者が多く、術後 2 週間でのリハビリで自宅に帰ることに不安があったり、独居や高齢世帯などにより自宅退院後十分な援助が得られないことから転院となる患者もいる。転院となる条件には様々なものがあるが、患者が住み慣れた家に帰れるように当院から転院している患者の ADL や家族背景、入院経過を調べることで転院した患者でも自宅退院が可能なのではないかと考えた。

[研究の目的]

当院では THA 術後 14 日目に自宅退院する場合と術後早期から転院調整を行い転院する場合とがある。今回転院した患者でも術後の歩行状態や日常生活動作など社会的な状況を整えることができれば自宅退院も可能ではないのかと検討した。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2016 年 1 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日の間に人工股関節置換術を受けた方

●研究期間： 2016 年 1 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：術式、年齢、性別、ADL、家族背景、自宅退院か転院か、転院を希望した理由、NRS(疼痛程度)

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

10階 A 病棟

【研究責任者】

看護師 奥田彩那

【分担者】

看護師 石村友里

副看護師長 石井雅基

看護師長 別所悦子

整形外科 医師 黒田 崇之

電話 086-294-9911（代表）

FAX 086-294-9255（代表）